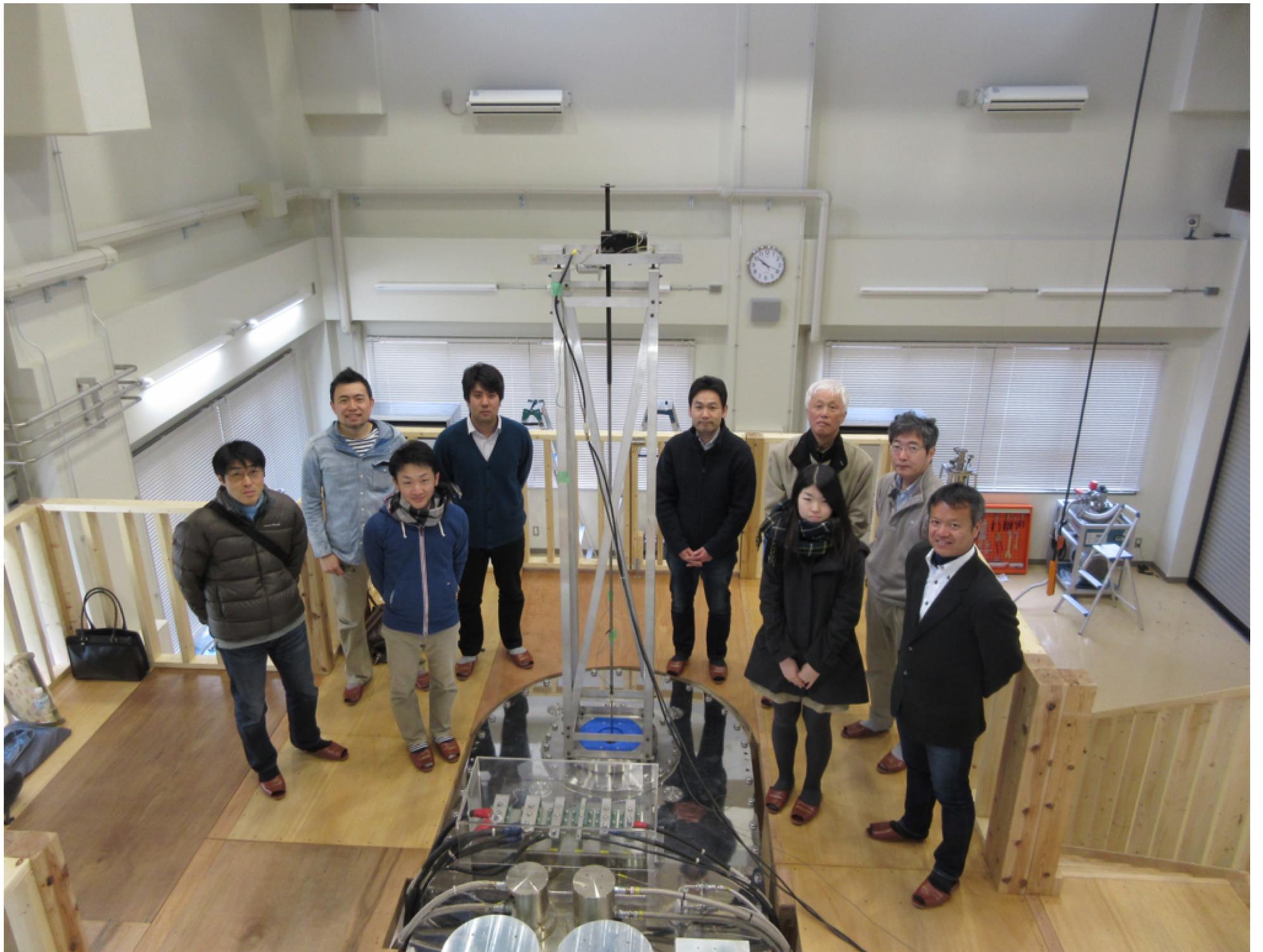




祝電



韓国ハンバット大学校 李忠坤 (Lee Choong Gon) 先生

Dear Prof. Yoshizawa

Congratulation on your final lecture.

It is the greatest honor as a life of teaching students.

It also contains your great contributions to education and efforts to the research.

I also highly appreciate your contribution to the global education between Iwate Univ. and Hanbat National Univ.

At the start of collaboration, there was no model to do the PBL. But it is successfully carried out now. The Bearen beer, many delicious wines and national alcohol of Sake are also important friends. All of Hanbat members appreciate you.



新潟大学理学部物理学科 赤津先生

吉澤先生のご退官について、ここまで健康でやってこられたということで嬉しくもあり、また、まだまだお元気なのにもうご退官なのかと寂しくもあります。新潟の後藤先生は退官後、雑務が無くなって生き生きと物理を楽しんでおります。吉澤先生も雑務の無くなった退官後は、後藤先生に負けず劣らず、物理を楽しんでいただいき、我々若い研究者に発破を掛けていただければと思っております。短くて恐縮ですが、これにてお祝いの言葉と変えさせていただきます。

### 東北大学極低温科学センター 中村慎太郎 先生

吉澤先生、長年のお勤めお疲れさまでした。  
先生にはSmB<sub>6</sub>の研究やハイブリッド磁石中の極低温超音波装置などに興味を持っていただきありがたく思っております。  
また、先生のご研究に超音波を学んだものとして啓発されるところが多々ありました。今、一つの区切りを迎えられるとは言え、先生の今後のご活躍を楽しみにしております。



### 新潟大学理学部物理学科 根本祐一 先生

「吉澤先生、まだまだ本当のリタイヤはずっと先のことでしょうから、これからも先生ならではの鋭い感覚での超音波物性探究を、そして超音波計測のビジネスモデルの確立も展開していただけてますよう心からお祈りいたします。追って便乗したいと思います。  
とりあえず、大学教授のレギュラーシーズンのオフに関しまして、これまでの多大なるご尽力ご鞭撻まことにありがとうございました。引き続きのご指導を切にお願いいたします！」



### 新潟大学理学部物理学科 三本啓輔 先生

吉澤先生、この度はご退官の日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。私は普段、局在電子系を出発点にして物理を考えてきましたが、吉澤先生はそれだけでなく遍歴電子系からも多面的に物理を議論され、感銘を受けてきました。これからは吉澤先生のアイデアを私の研究に取り込めないかと考えています。今後の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



吉澤先生

ご無沙汰しております。最近は入試業務で多忙にしており、返信が遅れて大変恐縮に存じます。

尊敬する吉澤先生の最終講義と退職祝賀会のメッセージをいただき、時の流れの速さを痛感しております。可能ならばパーティーに参加させていただきたいと、「超」強く思い念じていたのですが、北大から大学間協定セレモニーに出るよう命ぜられてしまい、東南アジアに行くため残念ながら参加できません。申し訳ございません。

さて、カンタムデザイン・ジャパンから発売された、吉澤モデルの超音波装置が順調に世界に広がっているようで、超音波を生業としている研究者として汎用化が進むのを大変誇らしく思っております。

数年後に吉澤先生が、超音波電子物性の「超」わかりやすい教科書を書き終えられるでしょうから、それまでのつなぎとして、我々がすべきことは、質が高くup-to-dateな研究内容で、なおかつ初学者にもわかりやすい論文を生産し続けることだと思っています。

現在、ウラン化合物の研究をしている私は、過去の文献を調べているとき頻繁に吉澤先生がヨーロッパでなされた仕事に遭遇し、日々、論文を通して当時の吉澤先生と対話させていただいている日々です。

その継承者に自分になれるとは思っておりませんが、プラハのカレル大学に導入された吉澤モデルを用いて、ヨーロッパでアクチノイド系化合物の超音波測定をコツコツ続けていこうと思っております。それが、超音波物理のますますの発展、ひいては全世界での「吉澤モデルの売り上げ向上」につながれば幸いです。

今後共かわらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

北大物理  
柳澤達也

(乱文お許し下さい)

